

「メタンハイドレート開発促進事業」の評価指定の
適否に関する追加質問事項

Q1 「メタンハイドレート資源開発研究コンソーシアム」「メタンハイドレート開発実施検討会」「メタンハイドレート開発促進事業評価検討会」等について、それぞれの構成、役割、責任体制について、設置要綱なども含めて明確に説明されたい。

Q2 「メタンハイドレート開発促進事業評価検討会」及び「産業構造審議会産業技術分科会評価小委員会」における評価に関して、追加すべき資料等があれば提示されたい。特に前者における、第2回陸上産出試験の2年延長が妥当であると判断された具体的な議論の過程等を示していただきたい。

Q3 第51回評価専門調査会で提出された資料4-2、21~22ページに「産業構造審議会産業技術分科会評価小委員会」における指摘事項への対応状況が示されているが、指摘に対する対応内容としての妥当性はいつの時点で、どのように判断（フォローアップ）されるのか説明されたい。

Q4 フェーズ1の2年延長を受け、研究開発予算は当初の計画に対してどの程度の変更（増額・減額等）があったのか説明されたい。

Q5 現時点で想定しているフェーズ2の予算総額規模を提示されたい。

Q6 フェーズ1の進展状況・研究成果に対する評価に基づいてフェーズ2の実施を判断するとの説明であったが、判断の時期（具体的な日程）、判断を下すための検討項目及び判断基準（どのような項目について、どのような状態であればフェーズ2に進むのか、あるいはフェーズ1で終了するのか）を説明されたい。

Q7 なぜ陸上採掘試験をカナダにおいて実施しているかを含め、カナダとの協力関係（予算負担、体制、成果の権利関係等）について説明されたい。

Q8 他の石油代替エネルギー開発と比較した場合のメタンハイドレート開発の位置付けを明確にされたい。また、そのような比較においてコスト計算の精度は重要であるが、今後の精度向上の目標とその目標を達成するロードマップを示されたい。